

生きた土で活力のある健苗を育てましょう!!

フランス生まれの高濃度好嫌気性有益微生物利用の育苗資材

育苗用コフナ

正味3kg入り



育苗用土の微生物相のバランスを保ちます
根毛の発育・発生が良く、活着が早く、病気にかかりにくい健苗を育てます



●使用方法（水稻の箱育苗）

- ・育苗培土にコフナを1箱あたり（床土4リットル）あたり50～60gの割合で均一に混合して下さい。
- ・覆土には混和しません。

◆使用上の注意

- ・コフナを使用した場合、白くカビのような菌糸が発生致しますが、生育には問題ありません。
- ・ムレ苗の抑止力は弱いので、灌水や育苗培土のpH調整を始め、育苗ハウスの保温や換気にご注意下さい。
- ・育苗用コフナを使用すると根張りが良くなるため、厚撒き傾向のところではタネは薄撒きして下さい。
（参考として、東北地方では苗箱1箱あたりタネ数は100～120gにしているようです。）

～立枯れの発生原因～

- ・前半（播種直後）に発生した場合
⇒低温にあたった可能性がありますので、保温管理を徹底して下さい。
- ・後半（田植え前）に発生した場合
⇒タネを厚撒きしている方に多く見受けられます。
コフナを使用すると根張りが良くなるため、厚撒きした分、根の張るスペースがなくなります。
そのため、もやし苗になりやすい傾向にあります。
対策として、薄撒きにして下さい。
⇒前半同様、低温にあたった可能性がありますので、保温管理を徹底して下さい。

●使用方法（花・野菜の育苗）

- ・育苗培土にコフナを1立米あたり4～5袋の割合で均一に混合して下さい。
 - ・育苗床にコフナを3.3平米あたり1～2袋施用し約10cmの深さに混入します。
- ### ◆使用上の注意
- ・コフナには肥料成分はほとんど含まれておりませんので、必要に応じ肥料は別途適量投入して下さい。
 - ・肥料は微生物のエサとなる有機質肥料をお勧めします。
※この場合は有機物がコフナで分解されるときに発生するガスに注意して、
コフナや肥料の施用から播種または定植までの期間を十分に取って下さい（出来れば1週間以上）。

●保管上の注意

- ・コフナは生物ですので、冷暗所にて保管下さい。
- ・水がかかると団結する恐れがありますので、水のかからないところで保管下さい。



総発売元：ニチモウ株式会社